令和７年度　やまがた社会貢献基金助成事業　活動報告書

団体名	つるおか伝統木構法千年塾(くむんだー山形)		
事業名	木のジャングルジムで森林循環教育と日本の伝統木構法技術体験		
助成事業区分	協働助成事業（テーマ希望型） 【㈱山形銀行　山形の豊かな自然を守る環境保全支援事業】		
団体の所在市町村	鶴岡市	事業費	1,018,972 円
		うち助成金額	900,000 円
事業実施期間	令和７年９月８日～令和８年２月２８日まで		

事業目的・実施内容

（事業目的）

当団体では、子どもの頃から大工の仕事や地元の山・木に興味関心を持ってもらうため、鶴岡産杉材のみで製作した木製ジャングルジム（以下：くむんだー）を様々なイベントに出展し、ミニ棟梁体験と鶴岡産杉材の良さを伝える活動を行ってきた。

くむんだーでの活動についてはイベントだけではなく、学校の課外授業などでも利用できる可能性が多くあり、要望もあることから、より多くの子ども達へ森林循環の大切さと大工職人が支える建設業の重要性を伝える体験活動を拡大させ、継続していく契機としたいと考え提案するもの。

（実施内容）

９月	事業開始打合せ 販売用くむんだーパーツ製作開始 「まなぶ」の資料作成開始
10月18・19日	つるおか大産業まつり(森とみどりのフェスティバル)出展 ▶２日間で２３０名の児童が参加
12月25日	酒田市大沢地区で体験学習 ▶ 地区児童１０名参加
２月11日	鶴岡市自然学習交流館ほとりあのイベントへの出前体験 ▶４７名の親子が参加





事業の成果	◎酒田市大沢地区への出前対応が実現できたのは、大きな成果の一つとなった。今回の活動は「山からの自然災害は驚異的なものであるものの、自然は恐れるものではなく、人と共存して生きていくものである」ということを、子ども達に感じてもらいながらアクティビティの機会にするという目的だったため、充実した時間となった。 ○大産業まつりの森フェスでは、史上最多の人数参加があった。リピーターも確実に増え、一人ひとりの滞在時間も伸びている傾向にある。 ○ほとりあの出前体験は、昨年の経験を踏まえ午前と午後の２回を予約制にして受付することとした。今回から作成できたまなびの時間の動画で山の木の役割や貫工法の説明についてきちんと行うことができてよかった。子ども達も動画に興味を持って見てくれたのは成果が出せたと思う。またリピーターの小学生が見本となって、初めての子や未就学児の子のサポートをしてくれるように促し協働して完成させる体験になったのはよかったと感じている。
今後の展望	子ども達が、くむんだー以外でも森林循環についての学びや協働で組み立て大工技術の素晴らしさを伝えられる木育教材の検討を進めたい。 ひとりでも取り組める木育教材やくむんだー以外の協働で体験ができるものを更に展開し、様々な刺激を与えられる活動を増やしたい。 　また活動をいよいよ県内全域まで広げ、鶴岡で積極的に行ってきた森林と経済の循環活動についても多くの県民に知ってもらう機会を増やしていきたい。







団体概要

団体名：くむんだー山形
（運営：つるおか伝統木構法千年塾）
代表者：劔持　大輔
連絡先：tsuruoka.sennenjuku@gmail.com
ＳＮＳ：

TSURUOKA.1000NEN.JUKU

令和７年度山形県ＮＰＯ活動促進補助事業

収支精算書

事業の名称	木のジャングルジムで森林循環教育と日本の伝統木構法技術体験
団体名	つるおか伝統木構法千年塾(くむんだー山形)

１　収入の部

（単位：円）

区分	精算額	内容
県補助金	900,000	令和７年度山形県NPO活動促進補助金
当該事業による収入	10,000	ほとりあ対応謝金
その他収入		
自己資金	108,972	スタッフ持出し金
合計	1,018,972	

２　支出の部

（単位:円）

区分	精算額	内容
謝金	133,960	くむんだーメンテナンス費
旅費		
印刷製本費		
消耗品･材料購入費	742,452	くむんだーパーツ購入費、消耗品 スタッフ用備品
通信運搬費	142,560	くむんだー運搬費
保険料		
使用料		
人件費		
(委託費)		
(備品購入費)		
(修繕費)		
合計	1,018,972	